

第 3 回 通 常 総 会

昭和 6 3 年 6 月 2 4 日 (金)

JSAI 人 工 知 能 学 会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE

〒115 東京都渋谷区上原1-32-19 三善コーポ201号室

TEL.03-485-6641 FAX.03-485-6642

第3回通常総会次第

日 時 昭和63年6月24日（金）16時～19時30分

場 所 日本教育会館
東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL.03-230-2831

- 総会次第
1. 特別講演<16時～17時：803・804会議室>
演題 [ニューロコンピュータと人工知能]
講師 甘利 俊一 氏（東京大学）

 2. 通常総会<17時～17時40分：803・804会議室（8階）>
 - 1) 開 会
 - 2) 会長挨拶
 - 3) 議長選出
 - 4) 昭和62年度事業報告
 - 5) 昭和62年度決算報告、監査報告
 - 6) 昭和63年度事業計画
 - 7) 昭和63年度予算
 - 8) 会則改正
 - 9) 昭和63年度役員構成
 - 10) 昭和63年度評議員選挙結果報告
 - 11) 昭和62年度論文賞表彰
 - 12) 閉 会

 3. 懇親会<18時～19時30分：宴会場“鶴亀”（9階）>

昭和62年度事業報告

1. 概要

学会設立2年目を迎え、急激な会員増およびその期待に応えるため、理事会および各委員会を中心に学会の基盤整備を進めるとともに、初めての全国大会の開催、研究会の発足、会誌発行の季刊から隔月刊への移行に重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。

6月29日から3日間にわたり学習院大学記念会館で開催した第1回全国大会は、予定を大幅に上回る論文発表および参加者により、予想以上の盛り上がりを見せた。期間中に優秀論文6編の表彰と第2回通常総会を行った。

研究会運営委員会を新しく設けて発足準備を進めた研究会は、3分野に分けてスタートすることとなり、12月に最初の研究会を開催した。

課題となっていた会誌の隔月発行は、編集委員会の周到な準備により第3巻第1号（63年1月発行）から移行した。

セミナーは大阪、東京で2回開催、また秋田、愛媛、琉球の各大学で開催した学生のための人工知能講演会も好評であった。シンポジウムの共催2回のほか、講演会など催し物の協賛など、他学協会との協調により活発化、多様化をはかった。

なお、大学その他研究機関の図書施設による会誌閲覧の便宜をはかるため、新年度から特殊購読会員制度を発足させ、また会誌への論文投稿を奨励するため、論文、ショートノート、技術資料を対象とした論文賞を創設し、第1回の表彰を行った。

62年4月1日から63年3月31日までの期間に行った事業の概要は、次のとおりである。

2. 会員現況（63年3月31日現在）

正会員	2,554名
学生会員	266名
賛助会員	100社
特殊購読会員	17団体

3. 会誌の発行

◇第2巻第2号（通巻4号）

・巻頭言、寄書、特集【AIツールのユーザインタフェース】解説6編、論文5編、その他で構成

・昭和62年6月1日発行（記事120ページおよび広告16ページ）

◇第2巻第3号（通巻5号）

・創刊1周年記念号

・創立1周年を迎えて7編、一般解説2編、特集【知的プログラミングの基礎】解説6編、論文6編、ショートノート1編、その他で構成

・昭和62年9月1日発行（記事152ページおよび広告12ページ）

◇第2巻第4号（通巻6号）

・巻頭言、一般解説1編、連載【AIにおける論争】（第1回）1編、特集【AIマシン】解説6編、論文4編、ショートノート1編、その他で構成

・昭和62年12月1日発行（記事138ページおよび広告12ページ）

◇第3巻第1号（通巻7号）

・巻頭言、連載【AIにおける論争】（第2回）1編、特集【エキスパートシステム】解説

- 7編、パネル討論1編、論文4編、ショートノート1編、その他で構成
- ・昭和63年1月20日発行（記事130ページおよび広告12ページ）

◇第3巻第2号（通巻8号）

- ・巻頭言、一般解説1編、連載[A Iにおける論争]（第3回）1編、特集[認知科学]解説5編、論文4編、その他で構成
- ・昭和63年3月20日発行（記事116ページおよび広告12ページ）

4. 昭和62年度全国大会（第1回）の開催

本学会として初めての全国大会を開催、チュートリアル講演会を併催した。

◇日 時 昭和62年6月30日（火）～7月2日（木）9時～17時

◇場 所 学習院大学記念会館

◇プログラム編成

・特別講演

会長記念講演 [これからの日本の人工知能研究]	福村 晃夫（名大）
特別招待講演 [これからのA Iとロボティクス]	金出 武雄（米・CMU）

・パネルディスカッション [人工知能の展望]

司 会	野口 正一（東北大）
出席者	大須賀節雄（東大）
	上野 晴樹（東京電機大）
	古川 康一（ICOT）
	森 健一（東芝）

・一般講演

発表論文 127編

・参加者

1, 139名（うち非会員204名、学生95名）

・優秀論文賞表彰

優秀論文 6編

・チュートリアル講演

講演者	8名
参加者	延301名（第1日104名、第2日99名、第3日98名）

5. 第1回研究会の開催

3研究会合同で第1回研究会を開催した。

◇日 時 12月3日（木）午後～4日（金）午前、午後

◇場 所 機械振興会館67号室、66号室（東京・芝）

◇プログラム <人工知能基礎論>研究会

・3日（木）13時～16時30分

・発表4編

・参加者101名

<ヒューマンインタフェースと認知モデル>研究会

・4日（金）9時30分～12時45分

・発表5編

・参加者128名

<知識ベースシステム>研究会

・4日（金）13時30分～16時45分

- ・発表5編
- ・参加者148名

6. セミナーの開催

◇第3回人工知能セミナー

- ・日 時 昭和62年5月13日(水) 9時30分～16時30分
- ・場 所 新阪急ビル(12階)スカイルーム2号室(大阪・梅田)
- ・参加者 57名
- ・テーマ [人工知能アラカルト]
- ・講演
 - 1)AIと法律 加賀山 茂(阪大)
 - 2)AIの新しい展開 溝口理一郎(阪大)
—知識獲得・深い知識・定性的推論—
 - 3)数式処理のシステム制御論への応用 齊藤 制海(豊橋技科大)
 - 4)産業行政からみたAI 中山 唯義(通産省)

◇第4回人工知能セミナー

- ・日 時 昭和62年9月8日(火) 9時～18時
9月9日(水) 9時～18時
- ・場 所 森永プラザビル23F会議室
- ・参加者 106名
- ・講演 <8日>
 - 1)AI言語 後藤 滋樹
 - 2)人工知能における理論と推論] 有川 節夫(九大)
 - 3)自然言語処理 辻井 潤一(京大)
 - 4)知識表現 安西祐一郎(北大)
- <9日>
 - 5)AIアーキテクチャ 雨宮 真人(NTT)
 - 6)知的CAIの現状と問題点 大槻 説乎(九工大)
 - 7)画像理解とその応用 白井 良明(電総研)
 - 8)設計エキスパートシステム 長澤 勳(九工大)

7. 学生のための人工知能講演会の開催

(電気通信普及財団助成金による)

◇第1回

- ・日 時 昭和62年10月16日(金) 13時20分～17時15分
- ・場 所 秋田大学教育学部6号館302号室
- ・参加者 約150名
- ・講演
 - 1)言葉とコンピュータ 田中 穂積(東工大)
 - 2)次世代知識ベースへ向けての
不完全な知識を操作する推論システム 石塚 満(東大)

◇第2回

- ・日 時 昭和62年11月10日(火) 13時10分～16時50分
- ・場 所 愛媛大学工学部大講義室
- ・参加者 約200名
- ・講演
 - 1)自然言語処理 北橋 忠宏(阪大)
 - 2)人工知能における新しい推論 有川 節夫(九大)

◇第3回

- ・日 時 昭和63年1月13日(水) 13時30分～16時50分
- ・場 所 琉球大学電子・情報工学科102教室
- ・参加者 約130名
- ・講 演 1)人工知能総論 福村 晃夫(名大)
2)知識表現と推論 上野 晴樹(東京電機大)

8. ニュースレターの発行

学会活動の最新情報を会員へ伝達するため、会誌の季刊発行を補い、4回発行した。

◇ニュースレターNO. 4

第4回人工知能セミナー開催および第1回研究会開催と発表募集のお知らせを中心に、日本ロボット学会その他と共催の《宇宙用人工知能・ロボット・オートメーション》シンポジウム、情報処理学会と共催の《人工知能システムの枠組み》シンポジウムの開催、他学協会の協賛催し物のお知らせを掲載し、8月に配布した。

◇ニュースレターNO. 5

第1回研究会の開催案内を中心に、他学協会の協賛催し物の案内を掲載し、11月に配布した。

◇ニュースレターNO. 6

来年度の全国大会(第2回)の論文募集および来年度の研究会開催日程と発表募集のお知らせ、来年度の評議員選挙のお願い、会員名簿発行のお知らせを掲載、12月に配布した。

◇ニュースレターNO. 7

4月度研究会、会員名簿発行のお知らせを掲載し、2月に配布した。

9. 表彰

◇学会論文賞の贈呈

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第1巻第1号～第2巻第4号掲載の論文ショートノートおよび技術資料計29編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文2編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・[類推の定式化とその実現](VOL.1-NO.1) 原口 誠、有川節夫
- ・[多重世界機構による常識推論](VOL.2-NO.3) 中島秀之

◇全国大会(第1回)優秀論文の表彰

発表論文127編を対象にプログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文6編の著者を表彰した。

- ・論文番号1-9 [回路自動合成のための定理証明システム] 原尾政輝・岩沼宏治(山形大)
- ・論文番号1-21 [接続行列を用いた荒い文法の推定法] 佐藤理史・長尾 真(京大)
- ・論文番号2-1 [ファクト管理を強化したプロダクションシステムとその応用]
石田 亨(NTT)
- ・論文番号2-4 [動的に生成されるオブジェクトの記述と管理機構]
和田慎一・古関義幸(NEC)
- ・論文番号5-2 [AIプロセッサのアーキテクチャ] 相川 健・岡村光善・
的場 司・斎藤光男(東芝)
- ・論文番号6-1 [自動車設計における人工知能技術の応用] 岸 則政・大河原 勝・石川文夫
堀内義夫・金丸裕二(日産自動車)

10. 共催、協賛、後援の催し物

◇共催

- ・宇宙開発事業団・他共催：宇宙用人工知能・ロボット・オートメーション・シンポジウム（62/11/9～10）
- ・情報処理学会共催：人工知能システムの枠組みシンポジウム（62/11/19～20）
- ・日本学術会議情報学研究連絡委員会主催：1988年情報学シンポジウム（63/1/19～20）

◇協賛

- ・石油学会主催：経営戦略におけるA Iの応用講演会（62/7/27）
- ・視聴覚情報研究会主催：62年度AVIRG-SMCサマセミナー [超コンピュータを求めて]（62/9/7）
- ・日本機械学会主催：交通機械とA I講習会（62/10/1～2）
- ・国際データベースワークショップ実行委員会主催：第5回国際データベースワークショップ（62/10/5～8）
- ・計測自動制御学会主催：第6回知識工学シンポジウム（62/10/21～22）
- ・テレビジョン学会主催：セミナー“画像処理の基礎と応用”（62/11/26～28）
- ・計測自動制御学会主催：第2回生体・生理工学シンポジウム（62/11/27～28）
- ・日本自動制御協会主催：講習会“ワークステーションとそのAIへの応用”（62/12/2～4）
- ・センシング技術応用研究会・大阪府技術協会主催：87センシング技術応用セミナー“最新の画像処理技術—センサ、アルゴリズム、プロセッサの動向と応用事例—”（62/12/3～4）
- ・日本機械学会計測・自動制御委員会主催：“計測と制御—21世紀への展望”（62/12/4）
- ・日本自動制御協会主催：“シグナル・システム・コントロール(SSC)シンポジウム”（63/1/26～27）
- ・日本自動制御協会主催：第38回講習会“知識工学のシステム制御への応用—II”
（大阪・63/2/4～5）（東京・63/2/9～10）
- ・計測自動制御学会主催：第7回“知識工学シンポジウム”（63/3/22～23）

◇後援

- ・公開シンポジウム組織委員会主催：“第2回 [大学と科学] 公開シンポジウム”（62/12/16～63/2/20）

11. 会議

◇第2回通常総会

全国大会に合わせて、6月30日（火）学習院大学記念会館で開催された。

◇理事会

8月を除く各月、計11回開催された。

◇昭和62年度評議員会

定例会議を5月15日（金）学士会館本郷分館で開催された。

◇委員会

編集、庶務、企画、財務、事業のほか、新しく発足した研究会運営、広報の常設委員会および昭和63年度全国大会（第2回）開催準備のため設置された全国大会実行委員会、同プログラム委員会と人工知能ハンドブック編集委員会が随時開催された。

12. 全国大会運営事務の委託

昭和63年度全国大会（第2回）の準備着手に際し、運営事務を（株）連企画研究事務所に委託することとし、大会事務局（東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル3階）を設けた。

以上

昭和62年度決算報告書（案）

貸借対照表

（昭和63年3月31日）

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1)現金預金	69,713,337
現金	(23,804)
預金	(11,689,533)
定期預金	(58,000,000)
(2)未収金	4,736,968
(3)前払い金	676,250
(4)担保金	750,000
(5)貸出金	1,300,000
流動資産計	[77,176,555]
2. 有形固定資産	
(1)備品	876,000
有形固定資産計	[876,000]
3. その他の固定資産	
(1)入居保証金	3,500,000
(2)電話架設料	145,600
その他の固定資産計	[3,645,600]
資 産 合 計	81,698,155

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1)前納金	21,665,500
(2)預り金	32,000
(3)未払い金	2,749,663
流動負債計	[24,447,163]
2. 固定負債	
(1)国際会議積立金	6,000,000
(2)法人化準備基金	5,000,000
(3)退職金引当金	400,000
固定負債計	[11,400,000]
負 債 合 計	35,847,163

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1)基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1)次期繰越収支差額	9,974,992
(2)次期繰越増減差額	876,000
剰余金計	[10,850,992]
正 味 財 産 合 計	45,850,992
負債および正味財産合計	81,698,155

財 産 目 録

(昭和63年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1)現金預金	
イ)現金	
現金手持ち有り高	23,804
ロ)普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	6,439,394
郵便貯金 (代表幹事口座)	1,600,000
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	491,609
ハ)振替貯金	
東京振替貯金局	3,158,530
ニ)定期預金	
第一勧業銀行北沢支店	30,000,000
第一勧業銀行北沢支店	5,000,000
第一勧業銀行北沢支店	3,000,000
第一勧業銀行北沢支店	2,000,000
第一勧業銀行北沢支店	7,000,000
第一勧業銀行北沢支店	6,000,000
定額郵便貯金	3,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2)未収金	
イ)入会金・年会費	1,487,450
ロ)会誌別刷り	1,016,000
ハ)会誌印税	661,230
ニ)会誌広告料	1,393,000
ホ)62年度会誌別刷り	120,000
ヘ)基本財産利息	139,688
ト)その他	7,600
(3)前払い金	
イ)会員名簿作成費	476,250
(4)担保金	
イ)郵便物受取人払い担保金	750,000
(5)貸出金	
イ)全国大会運営費	1,300,000
2. 有形固定資産	
(1)備品	
イ)H*ソコ1式	288,000
ロ)基本ソフトウェア1式	126,000
ハ)空調設備1式	410,000
ニ)金庫	52,000
3. 無形固定資産	
(1)入居保証金	3,500,000
(2)電話架設料	145,600
資 産 合 計	81,698,155

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1)前納金	
イ)入会金・年会費	19,498,000
ロ)研究会登録料	1,260,000
ハ)会員名簿予約料	907,500
(2)預り金	
イ)大会参加費、その他	32,000
(3)未払金	
イ)会誌執筆謝礼	74,633
ロ)OA化費	2,675,000
2. 固定負債	
イ)国際会議積立金	6,000,000
ロ)法人化準備基金	5,000,000
ハ)退職金引当金	400,000
負 債 合 計	35,847,163
正 味 財 産	45,850,992

注1: 基本財産は定期預金35,000,000円。

注2: 固定資産の減価償却額はない。

[1] 収支計算の部 (自昭和62年4月1日～至昭和63年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算	実 算	差 異
基本財産運用収入	1,400,000	1,148,720	▲251,280
入金収入	1,776,000	1,919,000	143,000
正会員入会金	1,680,000	1,790,000	110,000
学生会員入会金	96,000	129,000	33,000
年会費収入	37,500,000	40,066,000	2,566,000
正会員年会費	20,000,000	20,432,000	432,000
学生会員年会費	1,000,000	1,064,000	64,000
賛助会員年会費	16,000,000	18,400,000	2,400,000
特殊購読会員年会費	500,000	170,000	▲330,000
事業収入	19,440,000	21,517,470	2,077,470
会誌別刷り料	3,000,000	3,141,000	141,000
会誌印税	1,600,000	980,100	▲619,900
全国大会参加費、他	9,740,000	12,540,470	2,800,470
セミナー参加費	3,000,000	2,097,000	▲903,000
会誌などBN頒布代	2,100,000	1,219,900	▲880,100
研究会資料頒布代	0	503,000	503,000
研究会別刷り頒布代	0	36,000	36,000
電気通信普及財団援助金	0	1,000,000	1,000,000
雑収入	5,125,000	3,684,643	▲1,440,357
会誌広告料	5,000,000	3,556,000	▲1,443,857
郵送料	25,000	55,550	30,550
受取利息	100,000	60,753	▲39,247
その他	0	12,340	12,340
当期収入合計	65,241,000	68,335,833	3,094,833
前期繰越収支差額	4,546,406	4,546,406	0
収入合計	69,787,406	72,882,239	3,094,833

注1：全国大会は独立会計なので、収入、支出の合計額を記載した。

注2：第4回セミナーは、全国大会のフェトリックの再開催で、その収支は全国大会実施報告書にも掲載されている。

2) 支出の部

科 目	予 算	実 算	差 異
管理費	17,985,000	19,049,994	1,064,994
家賃	1,680,000	1,680,000	0
共益費	60,000	60,000	0
光熱費	240,000	202,391	▲37,609
リース料、他	360,000	516,340	156,340
什器備品費	400,000	545,840	145,840
会議費	1,080,000	839,275	▲240,725
旅費交通費	500,000	32,010	▲467,990
通信費	1,300,000	2,405,536	1,105,536
印刷費	500,000	1,107,840	607,840
消耗品費	500,000	1,033,380	533,380
給料・手当	7,840,000	8,506,526	666,526
臨時雇用費	1,080,000	965,420	▲114,580
支払い手数料	0	39,690	39,690
雑費	200,000	184,566	▲15,434
資料購入費	60,000	234,180	174,180
研修費	0	18,000	18,000
OA強化費	2,000,000	675,000	▲1,325,000
保険料	5,000	4,000	▲1,000
福利厚生費	180,000	0	▲180,000
事業費	38,140,000	36,972,556	▲1,167,444
会誌発行費	20,000,000	20,804,230	804,230
会誌別刷り印刷費	1,500,000	1,409,800	▲90,200
会誌執筆謝礼	450,000	405,311	▲44,689
会誌発行諸経費	650,000	822,360	172,360
全国大会開催費	9,740,000	9,310,375	▲429,625
セミナー開催費	2,750,000	2,008,935	▲741,065
ニュースレター発行費	950,000	778,090	▲171,910
ポスター作成費	100,000	0	▲100,000
研究会、シンポジウムなど 補助費	1,500,000	506,775	▲993,225
地方講演会開催費	0	772,500	772,500
会議費	500,000	154,180	▲345,820
引当金繰入額	6,200,000	6,200,000	0
国際会議積立金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
法人化準備基金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
退職金引当金繰入額	200,000	200,000	0
予備費 (会誌V2-N3印刷費、PR費)	3,000,000	684,697	▲2,315,303
当期支出合計	65,325,000	62,907,247	▲2,417,753
次期繰越収支差額	4,462,406	9,974,992	5,512,586
支出合計	69,787,406	72,882,239	3,094,833

注1：会誌発行費V2-N3は創刊一周年記念号で、学会PR用に500部増刷されており、この費用を予備費で処理するため、発行費を500,000円と設定した。

「2」正味財産増減計算の部
 (自昭和62年4月1日～至昭和63年3月31日)

1) 増加の部

科 目	実 算 額
1) 増加額	0
前期繰越増減差額	876,000
増加額合計	876,000

2) 減少の部

科 目	実 算 額
減少額合計	0
次期繰越増減差額	876,000
剰余金合計	10,850,992

昭和63年度事業計画（案）

1. 運営・活動方針

会則の目的に沿って、会誌の隔月発行への移行、全国大会（第2回）、研究会、セミナーおよび講演会の開催、ニューズレターの発行、学会論文賞および全国大会優秀論文賞の表彰ならびに他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかり、一方法人化への準備を進める。

2. 会誌の発行

編集体制の強化、充実により、年6回隔月発行の定着化を進める。

- ◇第3巻第3号（通巻9号）63年5月1日発行
特集企画 [次世代自然言語処理技術]
- ◇第3巻第4号（通巻10号）63年7月1日発行
特集企画 [音声知的処理]
- ◇第3巻第5号（通巻11号）63年9月1日発行
特集企画 [編集委員座談会]
- ◇第3巻第6号（通巻12号）63年11月1日発行
特集企画 [学習と知識獲得技術の新展開]
- ◇第4巻第1号（通巻13号）64年1月1日発行
特集企画 [画像理解]
- ◇第4巻第2号（通巻14号）64年3月1日発行
特集企画 [（未定）]

3. 全国大会（第2回）の開催

- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 昭和63年7月21日（木）～23日（土） |
| 場 所 | 学習院大学・記念会館および教室 |
| 構 成 | ・特別講演（豊橋技科大・佐々木慎一教授〈副学長〉）
・招待講演（Stanford 大・E.A. Feigenbaum 教授）
・パネルディスカッション
[常識とはなにかー次世代知識システムへ向けてー]
・一般講演（137件）
・チュートリアル講演（6件） |

4. 研究会の開催

3研究会が偶数月に計13回の研究会を開催。（発足当初の“人工知能ツールと知識システム”研究会は“知識ベースシステム”研究会と改称）

◇人工知能基礎論研究会（略称：SIG-FAI）

開催 予定月：6月、10月（九州開催）、12月（3研究会合同）、2月（SIG-HICGと共催）

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会（略称：SIG-HICG）

開催 予定月：6月（ソフトウェア科学会研究会と共催）、10月（大阪開催）、12月（3研究会合同）、2月（SIG-FAIと共催）

◇知識ベースシステム研究会（略称：SIG-KBS）

開催 予定月：4月、6月、10月、12月（3研究会合同）、2月（地方開催）

5. セミナー、講演会の開催

セミナーおよび学生のための講演会をそれぞれ年3回開催の予定。

6. ニュースレターの発行

年3回程度随時発行の予定。

7. 表彰

昭和63年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞および全国大会（第2回）発表の優秀論文賞の表彰を行う。

8. 法人化の準備

法人化特別委員会（仮称）を組織し、法人化へ向けて学会の組織整備、基盤強化をはかるとともに、関係官庁との折衝を始める。

9. 人工知能ハンドブックの発行

人工知能ハンドブック編集委員会で昨年度から準備を進めてきたハンドブックは、本年末に発刊（発行元オーム社）の予定。

10. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引続き、本学会が共催・協賛する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催5件、協賛18件（6月24日現在）である。

11. 理事会・委員会

◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

◇委員会その他

編集、研究会運営、事業、全国大会実行・プログラム委員会、広報、企画、庶務、財務、人工知能ハンドブック編集委員会、法人化特別委員会（仮称）は随時開催。

12. 昭和63年度役員構成（案）

別紙参照

13. 昭和63年度評議員名簿

別紙参照

以上

昭和63年度予算書（案）

（自昭和63年度4月1日～至昭和64年3月31日）

1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	1,010,000	1,400,000	▲390,000
入金収入	955,000	1,776,000	▲821,000
正会員入会金	910,000	1,680,000	▲770,000
学生会員入会金	45,000	96,000	▲51,000
会費収入	45,950,000	37,500,000	8,450,000
正会員会費	23,600,000	20,000,000	3,600,000
学生会員会費	1,200,000	1,000,000	200,000
賛助会員会費	20,800,000	16,000,000	4,800,000
特殊購読会員会費	350,000	500,000	▲150,000
事業収入	26,577,000	19,440,000	7,137,000
会誌別刷料	2,472,000	3,000,000	▲528,000
会誌印税	1,944,000	1,600,000	344,000
全国大会参加費 他	12,250,000	9,740,000	2,510,000
セミナー参加費	2,460,000	3,000,000	▲540,000
会誌など頒布代	1,360,000	2,100,000	▲740,000
会員名簿頒布料	3,250,000	-	3,250,000
研究会登録料、他	2,841,000	-	2,841,000
雑収入	3,955,000	5,125,000	▲1,170,000
会誌広告料	3,780,000	5,000,000	▲1,220,000
郵送料 他	25,000	25,000	0
受取利息	150,000	100,000	50,000
当期収入合計	78,447,000	65,241,000	13,206,000
前期繰越収支差額	9,974,992	4,546,406	5,428,586
収入合計	88,421,992	69,787,406	18,634,586

2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	19,795,000	17,985,000	1,810,000
家賃	1,680,000	1,680,000	0
共益費	60,000	60,000	0
光熱費	192,000	240,000	▲48,000
リース料 他	823,000	360,000	463,000
什器備品費	300,000	400,000	▲100,000
会議費	1,150,000	1,080,000	70,000
旅費交通費	400,000	500,000	▲100,000
通信費	1,500,000	1,300,000	200,000
印刷費	800,000	500,000	300,000
消耗品費	800,000	500,000	300,000
給料手当等	10,100,000	7,840,000	2,260,000
臨時雇用費	960,000	1,080,000	▲120,000
支払い手数料	35,000	0	35,000
雑費	180,000	200,000	▲20,000
資料購入費	140,000	60,000	80,000
研修費	50,000	0	50,000
OA強化費	500,000	2,000,000	▲1,500,000
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	120,000	180,000	▲60,000
事業費	50,832,000	38,140,000	12,692,000
会誌発行費	25,680,000	20,000,000	5,680,000
会誌別刷印刷費	1,800,000	1,500,000	300,000
会誌執筆謝礼	480,000	450,000	30,000
会誌発行諸経費	900,000	650,000	250,000
全国大会開催費	12,250,000	9,740,000	2,510,000
セミナー開催費	1,357,000	2,750,000	▲1,393,000
ニュースレター発行費	660,000	950,000	▲290,000
ポスター作成費	0	100,000	▲100,000
会員名簿発行費	2,890,000	0	2,890,000
地方講演会	720,000	0	720,000
研究会、他開催費	2,910,000	1,500,000	1,410,000
広報活動費	260,000	0	260,000
会議費	925,000	500,000	425,000
引当金繰入額	6,300,000	6,200,000	100,000
国際会議積立金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
法人化準備基金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
退職金引当金繰入額	300,000	200,000	100,000
予備費	1,500,000	3,000,000	▲1,500,000
当期支出合計	78,427,000	65,325,000	13,102,000
次期繰越収支差額	9,994,992	4,462,406	5,532,586
支出合計	88,421,992	69,787,406	18,634,586

会則改正（案）

第15条（役員および評議員の選出）

<現 行>

- 1) 会長は、評議員の中から互選によって選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 2) 副会長は、評議員の中から互選によって選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 3) 理事は、評議員の中から互選によって選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 4) 顧問は、正会員の中から会長が指名し、理事会の承認によって決定する。
- 5) 監事は、評議員の中から互選によって選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 6) 評議員は、正会員の中から選挙によって決定する。

<改正案>

- 1) 会長は、正会員の中から評議員が選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 2) 副会長は、正会員の中から評議員が選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 3) 理事は、正会員の中から評議員が選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 4) 顧問は、正会員の中から会長が指名し、理事会の承認によって決定する。
- 5) 監事は、正会員の中から評議員が選出し、総会における正会員の承認によって決定する。
- 6) 評議員は、正会員の中から選挙によって決定する。

以上

昭和63年度人工知能学会役員構成(案)

会 長	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター教授	(再任)
副会長	戸田 巖	N T T 情報通信処理研究所長	(留任)
〃	辻 三郎	大阪大学基礎工学部制御工学科教授	(再任)
理 事	池田 克夫	筑波大学電子情報工学系教授	(留任)
〃	石原孝一郎	(株)日立製作所システム開発研究所第5部長	(新任)
〃	開原 成允	東京大学医学部中央医療情報部教授	(留任)
〃	角所 収	大阪大学産業科学研究所電子科学研究部教授	(新任)
〃	木村 正行	東北大学工学部情報工学科教授	(新任)
〃	佐々木浩二	(株)アドイン研究所代表取締役	(再任)
〃	佐藤 繁	(株)富士通研究所取締役	(新任)
〃	椎野 努	沖電気工業(株)総合システム研究所部長	(新任)
〃	白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科教授	(新任)
〃	白井 良明	大阪大学工学部電子制御機械工学科教授	(再任)
〃	杉江 昇	名古屋大学工学部電気工学第2科教授	(留任)
〃	鈴木 則久	日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所長	(留任)
〃	反町 洋一	(株)三菱総合研究所 取締役	(留任)
〃	田中千代治	三菱電機(株)中央研究所システム研究部長	(留任)
〃	田中 穂積	東京工業大学工学部情報工学科教授	(新任)
〃	堂下 修司	京都大学工学部情報工学科教授	(留任)
〃	中島 昌也	松下電器産業(株)取締役技術本部長	(留任)
〃	萩原 宏	京都大学工学部情報工学科教授	(留任)
〃	山本 英雄	K D D 上福岡研究所次長	(留任)
〃	横井 俊夫	(株)日本電子化辞書研究所 研究所長	(留任)
〃	吉田 將	九州工業大学情報工学部知能工学科教授	(新任)
〃	渡辺 正信	日本デジタル・イクイップメント(株)取締役	(留任)
監 事	山田 博	(株)富士通研究所 川崎研究所長	(留任)
〃	加藤 康雄	日本電気(株)取締役	(再任)

昭和63年度人工知能学会評議員名簿

1) 評議員構成

大学関係	84名(留任45、新任39)	注: 氏名左側の数字は任期で、
国立・公的機関関係	15名(留任5、新任10)	1は64年3月末まで
企業関係	49名(留任24、新任25)	2は65年3月末まで
合 計	148名(留任74、新任74)	

2) 大学関係

1	相磯 秀夫	慶応義塾大学理工学部教授
2	相原 恒博	愛媛大工学部電子工学科教授
2	阿部 圭一	静岡大学工学部情報工学科教授
1	甘利 俊一	東京大学工学部計数工学科教授
2	有川 節夫	九州大学理学部基礎情報学研究施設教授
1	有本 卓	大阪大学基礎工学部機械工学科教授
2	安在 弘幸	九州工業大学工学部情報工学科教授
2	安西祐一郎	慶応義塾大学理工学部電気工学科教授
1	井口 征士	大阪大学基礎工学部制御工学科教授
1	石井 威望	東京大学工学部産業機械工学科教授
2	石塚 満	東京大学生産技術研究所助教授
1	石綿 敏雄	茨城大学教養部教授
2	市川 惇信	東京工業大学総合理工学研究科教授
1	市川 忠男	広島大学工学部電気系教授
2	伊藤 紘二	東京大学工学部計数工学科助教授
1	伊藤 貴康	東北大学工学部情報工学科教授
1	稲垣 康善	名古屋大学工学部電気工学科教授
2	井上 和子	神田外語大学英米語学科教授
2	井上 博充	東京大学工学部機械工学科教授
1	茨木 俊秀	京都大学工学部数理工学科教授
1	上野 晴樹	東京電機大学理工学部経営工学科教授
1	梅谷 陽二	東京工業大学工学部機械物理工学科教授
2	大槻 説乎	九州工業大学知能情報工学科
1	大須賀節雄	東京大学工学部先端科学技術研究センター教授
2	岡田 直之	大分大学工学部組織工学科教授
1	岡本 栄一	川村学園女子大学文学部心理学科教授
1	小原 啓義	早稲田大学理工学部教授
2	角所 収	大阪大学産業科学研究所教授
1	河口 英二	九州大学総合理工学研究科情報システム学専攻助教授
1	菅 忠義	学習院大学理学部数学科教授
1	上林 弥彦	九州大学工学部情報工学科教授
1	北橋 忠宏	大阪大学産業科学研究所教授
2	木村 文彦	東京大学工学部精密機械工学科教授
2	木村 正行	東北大学工学部情報工学科教授
2	小林 重信	東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻助教授
2	小山 照夫	学術情報センター助教授
1	斉藤 忠夫	東京大学工学部電子工学科助教授
1	佐々木慎一	豊橋技術科学大学副学長
1	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科教授
1	白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科教授

- | | | |
|---|---------|-----------------------|
| 1 | 白井 良明 | 大阪大学工学部電子制御機械工学科教授 |
| 1 | 高木 幹雄 | 東京大学生産技術研究所教授 |
| 2 | 田中 英彦 | 東京大学工学部電気工学科教授 |
| 2 | 田中 穂積 | 東京工業大学工学部情報工学科教授 |
| 2 | 田中 譲 | 北海道大学工学部電気工学科助教授 |
| 1 | 田畑 孝一 | 図書館情報大学図書館情報学部教授 |
| 1 | 辻 三郎 | 大阪大学基礎工学部制御工学科教授 |
| 2 | 辻 正重 | 青山学院大学理工学部経営工学科教授 |
| 2 | 辻井 潤一 | 京都大学工学部電気工学第二学科助教授 |
| 2 | 津田 一郎 | 九州工業大学情報工学部知能情報工学科助教授 |
| 2 | 手塚 慶一 | 大阪大学工学部通信工学科教授 |
| 1 | 都倉 信樹 | 大阪大学基礎工学部情報工学科教授 |
| 1 | 戸田 正直 | 中京大学文学部心理学科教授 |
| 2 | 豊田 順一 | 大阪大学産業科学研究所教授 |
| 1 | 鳥居 宏次 | 大阪大学基礎工学部情報工学科教授 |
| 2 | 鳥脇純一郎 | 名古屋大学工学部情報工学科教授 |
| 1 | 土居 範久 | 慶応義塾大学情報科学研究所教授 |
| 2 | 中川 裕志 | 横浜国立大学工学部電子情報工学科助教授 |
| 2 | 長尾 真 | 京都大学工学部電気第2学科教授 |
| 1 | 長田 正 | 九州大学工学部電気工学科教授 |
| 1 | 野口 正一 | 東北大学電気通信研究所教授 |
| 1 | 野崎 昭弘 | 国際キリスト教大学教養学部教授 |
| 1 | 波多野 誼余夫 | 独協大学教養学部教授 |
| 2 | 原田 行男 | 日本大学経済学部教授 |
| 1 | 平川 顕名 | 京都大学医学部教授 |
| 2 | 福田 収一 | 大阪大学溶接工学研究所助教授 |
| 1 | 福村 晃夫 | 中京大学社会学部教授 |
| 1 | 藤崎 博也 | 東京大学工学部電子工学科教授 |
| 2 | 藤原 譲 | 筑波大学電子情報工学系教授 |
| 1 | 古川 俊之 | 東京大学先端科学技術研究センター教授 |
| 1 | 前川 禎男 | 神戸大学工学部システム工学科教授 |
| 1 | 松尾 文碩 | 九州大学大型計算機センター研究開発部長 |
| 2 | 松山 隆司 | 東北大学工学部情報工学科助教授 |
| 2 | 溝口 文雄 | 東京理科大学理工学部経営工学科助教授 |
| 2 | 溝口 理一郎 | 大阪大学産業科学研究所助教授 |
| 1 | 向殿 政男 | 明治大学工学部電子通信工学科教授 |
| 2 | 村岡 洋一 | 早稲田大学理工学部電子通信学科 |
| 1 | 森下 巖 | 東京大学工学部計数工学科教授 |
| 2 | 山崎 進 | 岡山大学工学部情報工学科教授 |
| 1 | 山本 毅雄 | 図書館情報大学図書館情報学部教授 |
| 1 | 吉田 将 | 九州工業大学情報工学部知能情報工学科教授 |
| 2 | 吉田 雄二 | 名古屋大学工学部情報工学科教授 |
| 2 | 米沢 明憲 | 東京工業大学理学部情報科学科助教授 |
| 2 | 吉野 一 | 明治学院大学法学部教授 |

2) 国立・公的機関関係

- | | | |
|---|-------|----------------------------|
| 2 | 石崎 俊 | 電子技術総合研究所パターン情報部推論システム研究室長 |
| 2 | 内田 俊一 | (財) I C O T 第4研究室長 |
| 1 | 大島 正光 | (財) 医療情報システム開発センター理事長 |

- 2 上条 史彦 (財) 情報処理振興事業協会理事
- 2 木村 幸男 (財) 鉄道総合技術研究所情報・制御システム研究室
- 2 樽松 明 (株) ATR自動翻訳電話研究所社長
- 1 鈴木 道夫 (財) 電力中央研究所 経済研知識処理研究室
- 2 諏訪 基 電子技術総合研究所電子計算機部人間機械システム研究室長
- 1 田中 卓史 国立国語研究所
- 2 田村 佳彦 (財) 石油産業活性化センター主任
- 1 棟上 昭男 電子技術研究所ソフトウェア部長
- 2 原田 実 (財) 電力中央研究所経済研究所情報システム部
- 1 古川 康一 (財) ICOT第一研究室長
- 2 山下 紘一 (株) エイ・ティ・アール通信システム研究所
- 2 吉岡 毅泰 宇宙開発事業団

4) 企業関係

- 2 穂本 能彬 東京電力(株)システム研究所AI研究室長
- 1 浅野 俊昭 キヤノン(株)情報システム研究所知能工学研究部
- 1 荒川 淳三 新日本製鐵(株)情報通信システム部
- 2 磯辺 寛 (株)日立製作所 ソフトウェア工場AIプログラム部主任技師
- 2 市川 照久 三菱電機(株)情報電子研究所知識処理開発部
- 2 岩下 安男 NTTデータ通信事業本部開発本部AI技術担当部長
- 1 井上久仁子 (株)安川情報システム
- 1 石原孝一郎 (株)日立製作所 システム開発研究所第5部長
- 1 大泊 勝 朝日新聞社 技術本部長
- 1 尾河 洋一 富士ゼロックス(株)常務取締役総合研究所長
- 1 尾上 守夫 (株)リコー研究所所長
- 1 加藤 康雄 日本電気(株)C&C研究所所長
- 2 河田 勉 (株)東芝 総合研究所
- 2 河野 毅 (株)東芝システム・ソフトウェア技術研究所部長
- 2 小森 和昭 NTTヒューマンインタフェース研究所視覚情報研究部長
- 2 後藤 敏 日本電気(株)C&Cシステム研究所応用システム研究部長
- 2 桜井 武一 東京電力(株)技術開発本部技術研究所システム研究室
- 1 佐々木浩二 (株)アドイン研究所代表取締役
- 2 佐藤 繁 (株)富士通研究所取締役
- 1 佐野 元 (株)野村総合研究所コンピュータシステム 研究開発部次長
- 1 椎野 努 沖電気工業(株)研究開発本部総合システム研究所
- 1 志村 則彰 カシオ計算機(株)開発副本部長
- 2 下村 尚久 (株)東芝 情報通信システム技術研究所長
- 2 高木 朗 (株)CSK技術開発事業本部部長
- 1 高橋 栄 (株)日立製作所 ソフトウェア工場AIプログラム部部長
- 2 竹下 亨 日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所理事ソフトウェアテクノロジー担当
- 2 武田 学 KDD上福岡研究所知能処理研究室長
- 1 棚橋 純一 (株)富士通研究所 人工知能研究部
- 2 谷 友幸 日本デンタル・イクイップメント(株)人工知能技術センター人工知能企画課長
- 2 田畑 晃 富士通エフ・アイ・ビー(株)システム部
- 1 塚本 克治 NTT基礎研究所
- 1 戸田 巖 NTT情報通信処理研究所所長
- 2 戸田 保一 (株)野村総合研究所 取締役
- 1 土井 康継 住友電気工業(株)大阪製作所開発本部電子技術研究部次長
- 1 西島 誠一 (株)東芝 システムソフトウェア技術研究所所長

- | | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| 1 | 服部 幸英 | 日本鋼管（株）CAD/CAM センター |
| 2 | 真名垣昌夫 | 日本電気（株）C&C情報研究所情報基礎研究部長 |
| 2 | 三木 弼一 | 松下電器産業（株）情報システム研究所長 |
| 2 | 三雲 正夫 | 清水建設（株）技術開発本部 |
| 2 | 美濃 順亮 | 花王（株）知識情報科学研究所 所長 |
| 2 | 村上 国男 | N T T 情報通信処理研究所 |
| 1 | 毛利 良男 | 富士通（株）ソフトウェア開発本部ソフトウェア事業部AI開発推進室長 |
| 1 | 森 健一 | （株）東芝 総合企画部 |
| 2 | 森 俊二 | （株）リコー中央研究所知能工学研究センター |
| 2 | 森 文彦 | （株）日立製作所 システム開発研究所第5部主任研究員 |
| 1 | 山田 博 | （株）富士通研究所川崎研究所所長 |
| 2 | 山本 正隆 | 沖電気工業（株）取締役開発本部副本部長 |
| 1 | 米沢 啓明 | 日本生命保険相互会社 取締役情報システム部長 |
| 1 | 米山 正秀 | （株）リコー 中央研究所 |
| 2 | 渡辺 剛 | 日本石油（株）工務部主任部員 |

以上